ネット・リテラシー教材（小学校④中学年／責任を持って発信する力）

**「とく名」って何だろう？**

**1　ねらい**

◎「匿名」とは、実名を出さず、ニックネームなどで発信する行為であり、一見安心にみえて、「なりすまし」や「誹謗・中傷行為」を生み出すものであることに気づくとともに、そのような行為は犯罪であることを理解できるようにする。

**※パワーポイント資料で、文字をきれいに隠さず、あえて文字の一部を見えるようにしてヒントになるようにしていますが、授業者の判断で全て隠すなど調整していただいて構いません。**

**2　展　開**

（1）導入（5分）

○インターネットで、自分の名前や顔写真を出すと、どうなると思いますか。

　　・知らない人から批判されたり、つきまとわれたりする。

　　・写真がいつの間にか世界中にばらまかれて、消せなくなる。

○そうですね。以前、「インターネットのしくみ」という勉強をしましたね。では、名前を書かずに、ニックネーム（あだ名）で情報を出したらどうですか。

　　・名前がばれないから安心かも。

　　・気にせずに言いたいことが言えそう。

（2）学習のテーマを知る。

　　○このように名前を出さないことを、「とく名」といいます。聞いたことありますか。今日は、この「とく名」について考えてみましょう。

　　　　**◆「とく名」って何だろう？**

（3）「なりすまし」について、考える。（15分）

　　○では、名前を書かずに「とく名」にすると、どんなことが起こるか、一緒にみていきましょう。

事例①：「わたしも同じ高校生です。ぜひ、ともだちになってください！」というメッセージが「とく名」の人から届きました。この人はどんな人だと思いますか。

　　　・高校生

　　○この人と実際に会うことになりました。来た人は、この人です。

　　　→パワーポイントで怖そうなおとなの人のイラストを表示

　　○次の例です。この人は、どんな人でしょうか。

　　　　事例②：「たいへんだね。つらいよね。とってもよくわかるよ。話を聞いてあげるから、一度会わない？」

　　　　　　　　・怖い人　　・悪い人

→パワーポイントで優しそうなお兄さんを表示（実は、悪いグループの人）

○怖いよね。どうして、こんなことが起こってしまうのだろう。

　　　　・「とく名」だから、うそをついてもわからない。

　　　　・言葉だけで、どんな人のふりもできる。

　　○そうだよね。こういうのを「なりすまし」と言います。インターネットを始めたばかりの人（小学生～高校生）で、こういう人を信じてしまうが多くて、犯罪に巻き込まれたりしてしまっています。

　　○「なりすまし」にだまされないためには、どうしたらいいと思いますか。

　　　　・仲良くなっても、簡単に信じない。

　　　　・判断力が身につくまでは、絶対に会わない。

　　　　・あやしいと思ったら、誰かに相談する。

　　　　・ネット上の人物を見極める能力を養う。

（4）「とく名」で発信する側になったときのことを考える。(15分)

　　○今度は、みんなが「とく名」で発信するときのことを考えてみましょう。インターネットで知り合った人から、「あなたは、何歳ですか？」と尋ねられたら、どう答えますか。名前を書いたとき（実名）と書かないとき（とく名）では、答えが変わるでしょうか。考えてみましょう

　　　　　【実名なら】

　　　　　【とく名なら】

　　○「実名」と「とく名」で、書いたことが違った人はいますか。書く中身を変えたのはなぜですか。

　　　　　・実名だと、うそはつけないので、そのまま書いた。

　　　　　・実名なので、答えられないと書いた。

　　　　　・とく名なので、本当のことを書いた。

　　　　　・とく名なので、わざと変えてうそを書いた。

　　　　　**※変えた子どもがいなくても、「とく名なら、ちょっとふざけて、うそをついてもいいかな」と思ってしまう人が多くなることを確認する。**

　　○一回うそをついてしまうと、次から同じ人と話すとき、どうなると思いますか。

　　　　　・ずっとうそをつきつづけないといけなくなる。

　　○そうですね。一度うそをつくと、そのうそをつき続けないといけなくなって大変だよね。それだけではなく、「とく名」だから、「ひどい悪口を投げつけてもいいだろう」と思ってしまう人もいます。そうやって、気に入らない人に何回も悪口を送る人も出てきてしまうんですね。

　　○「とく名」だったら、何でも許されると思いますか。

　　　　　・思わない。

　　○そうですよね。それだと大変な世の中になります。実は、「とく名」でも書いた人はわかります。それは、インターネットにつながるということは、通信会社と契約をしていますし、通信会社ではどのパソコンやスマホ・タブレット・ゲーム機から送信されたかは、調べるとわかるんです。そして、逮捕されたりするんです。

・えー、そうなの？

　　　**※最近は法律が改正され、情報発信者の情報開示請求が簡単になりました（特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律（通称：プロバイダ責任制限法）第4条を参照）。誹謗中傷に対する刑罰も厳罰化の方向で検討が進んでいます。**

　　○だから、「とく名」だからといって、絶対に名前がわからないわけではないんですね。ただし、インターネットは世界中の人が使っているので、誰が使ったか調べられない国もあるので気をつけましょうね。

　　○外国では、「とく名」ではなく「実名」を使うことの方が多いそうです。それは、なぜだと思いますか。

　　　　　・実名の方が、みんながうそをつかなくなるから。

　　　　　・ひどい悪口を書く人が増えないように。

　　　　　・自分が逮捕されたりしないように。

（5）「とく名」について考え、今日の学習をふり返る。（5分）

　　○「とく名」というのは、なんとなく安全でいいようだけれども、だまされることもあるし、つい嘘や悪口を言いたくなってしまうこともあるんですね。でも、名前は通信会社や警察の人が調べたらわかるんですね。「とく名」を使うと、安心して世界中の人と話ができるというよさもあります。でも、その怖さもわかっておくことが大事なんですね。

○では、今日の勉強のふりかえりをしましょう。

「とく名」って何だろう？

（　　）年　名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1　この人は、どんな人？

例①「わたしも同じ高校生です。ぜひ、友だちになってください！（とく名）」

例②「とってもよくわかるよ。話を聞いてあげるから会わない？（とく名）」

★こんなことにならないために、どうしたらいい？

2　「とく名」なら？

　例　「あなたは、何才ですか？」

　　　「実名」なら…

　　　「とく名」なら…

★外国で、「とく名」を使わないのは？

4　学習のふりかえり

　　 　　　 　　

むずかしかった

まあまあわかった！

よくわかった！

【感想】